

木津川市教育委員会会議録

平成27年第11回木津川市教育委員会定例会

○日 時：平成27年11月24日（火） 午前10時00分から午前11時38分まで

○場 所：木津川市役所 4階 4-1会議室

○出席者：森永重治教育長、有賀やよい委員、小松信夫委員、高橋史代委員、佐脇貞憲委員
（事務局）森本教育部長、加藤理事、中川理事、竹本教育次長兼学校教育課長、
市川社会教育課長、石井教育施設整備室長、福井文化財保護室長

1. 開 会 教育長

教育長あいさつ

2. 前回会議録の承認

教育長が、第10回定例会議の会議録の承認について提案された。
委員より異議なく承認された。

3. 議事

《議案第47号 棚倉小学校管理備品（家具・インテリア）の買入れについて》

教育長が、事務局に説明を求めた。

事務局が、議案書に基づき説明を行った。

〔説明〕

平成27年第4回木津川市議会定例会に提出予定の棚倉小学校管理備品（家具・インテリア）の買入れについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、教育委員会の意見を聴取するもの。

一般競争入札の契約方法により、契約金額は21,578,400円、契約相手方は、萬友インテリア 代表者 野瀬 浩である。

【質疑応答】

教 育 長：児童用の机、椅子については全て新しいものに変えるのか。

事 務 局：児童用については全て新しくする。ただし、比較的新しいものについては、多目的室等で使用する。

委 員：職員室の什器も全て新しくするのか。

事 務 局：職員室の什器も古いものが多いので新しくするが、傷みの少ない一部は使用する予定である。

教 育 長：本体工事の完成予定はいつか。

事務局：平成28年3月25日である。
教育長：その後に搬入するのか。
事務局：工事完成までに部分使用を願い出て、備品を搬入する。

【採決】

教育長が採決を行い、異議なしとして承認された。

《議案第48号 平成27年度木津川市一般会計補正予算第3号について》

教育長が、事務局に説明を求めた。
事務局が、資料に基づき説明を行った。

〔説明〕

平成27年第4回木津川市議会定例会に提出の平成27年度木津川市一般会計補正予算第3号の予算案を編成するにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、教育委員会の意見を聴取するもの。

資料に基づき、歳入・歳出の補正内容について説明。

【質疑応答】

委員：図書館費の臨時職員賃金を増額するのは、ご寄付頂いた蔵書購入に係わって必要となるものか。

事務局：現在雇用している臨時職員賃金に不足が生じる為で有り、関連はない。

委員：3つの図書館の中で、加茂図書館の蔵書数が一番少ないが、寄付金の配分については考慮していないのか。

事務局：寄付された方が、中央図書館を利用されていることを踏まえ、3館の貸出件数により按分を行った。

【採決】

教育長が採決を行い、異議なしとして承認された。

4. 教育長報告（平成27年10月23日～平成27年11月24日）

(1) 教育長が、事業報告に基づき報告を行った。

中でも次の点について、詳細の説明があった。

- ・10月29日は、近畿都市教育長協議会が宮津で開催された。
- ・11月1日は、文化協会文化祭がアスピア山城で開催された。
- ・11月3日は、木津川市少年の主張大会が加茂文化センターで開催された。

子ども達の生活に身近な面からの優しい気持ちや小学校高学年から中学生になると社会的な事象に関して意見を述べており、頼もしく感じた。

- ・ 11月4日は、相楽地方中学校音楽交流会がやまなみホールで開催された。
- ・ 11月7日は、木津川市障害児・者スポーツ大会が中央体育館で開催された。木津中学校の吹奏楽部の着ぐるみでのパフォーマンスを含め、大いに盛り上がった。
- ・ 11月12日は、公立幼稚園造形展が開催された。
- ・ 11月13日は、南陽高校創立30周年記念式典が開催され、元京大総長の松本氏が講話の中で、人生はチャレンジであり、失敗してもまたチャレンジが出来る。また、自鍛自恃の精神の必要性を説いておられた。
- ・ 11月14日は、相楽駅伝大会が開催され、加茂小学校が優勝した。
- ・ 11月15日は、やましろ読書大好きフェスタが開催され、発表者の表現力が素晴らしいものであった。
- ・ 11月17日は、京都府学校給食研究発表会が相楽台小学校で、翌日の18日は、京都府中学校研究会が木津第二中学校で開催された。どちらも市外から多くの先生方が来られて立派な発表会であった。

5. その他

(1) 今後の行事予定について

事務局が、今後の行事予定について説明した。

(2) 木津川台地区への認定こども園開園にむけて

事務局が資料に基づき、これまでの経過も含めた説明を行った。

(3) 同志社連携事業 木津川市プロデュースプロジェクトについて

事務局が資料に基づき、これまでの経過や12月19日に実施する活動成果報告について説明を行った。

〔説明〕

今年で4年目になるが、木津川市教育委員会と同志社大学のNPO法人であるプロデューステクノロジー開発センターの共催で、市内5中学校の2年生を対象として、今年度は各校5名程度の参加で実施している。

内容としては、社会貢献につながる事業をプロデュースすることを目的として、中学生に学ばせているものである。

取り組み方法は、5月に同志社大学において指導する大学生と中学生の顔合わせを行い、12月の成果発表までの間に放課後を使ってそれぞれの企画の実現に向けた学習を行っている。

成果の発表については、12月19日に高の原イオンの平安コートにおいて大学生と中学生がステージ発表を行う。

来年度については、小中学生を対象にする計画をしている。

また、この事業と並行してプロデュースを授業の中に取り入れる教育プログラム策定に取り組んでおり、今年度は、木津南中学校の総合的な学習の10時間の授業で案を策定した。今後、内容の検証を行っていく予定である。

【質疑応答】

委員：プロデュースプロジェクトの参加者が、中学生35名中、男子が5名であるが、男子が参加しにくい理由があるのか。

事務局：各学校共に希望制で参加者を募っており、これまでも同様の傾向にある。放課後を利用して活動するので、部活動との兼ね合いがあり、参加している女子も文化系クラブや吹奏楽部に所属している場合が多く、運動部が少ない傾向にある。

委員：大学生も女性が多いのか。

事務局：女性が、若干多い程度である。

(4) 泉川座の人形浄瑠璃用具の展示について

事務局が、11月20日から12月18日まで市役所市民活動スペースで行っている文化財の公開展示について、資料に基づき説明を行った。

(5) 最近の主な新聞記事について、教育長が説明した。

【質疑応答】

委員：最近の報道の中で気になった点を2点質問する。

1点目は、運動会の組体操における事故防止対策として、木津川市で基準を設けているか。

2点目は、学校設備点検の不備が全国的に問題となっているが、木津川市の実施状況はどうか。

事務局：組体操については、小学校高学年が主である。市で基準を設けている訳ではなく、それぞれの学校で児童の発達段階に合わせて危険度を判断して実施している。

事務局：火災報知機や浄化槽等については、法定点検を実施している。点検において指摘があった事項については、出来るだけ早急に改善を行い、多額の費用がかかるものについては、翌年度の当初予算に計上して改善している。

委員：何故、設備点検について質問したかという、私が小学生の時に近隣の小学校で石油ストーブの給油で火事になり全焼したことがあった。

委員：最近、エアコンや電気ストーブ等が主流であり、石油を扱う習慣のない若い先生方の中には、給油する際はストーブを消してから行うことを知らな

い方もおられるのではないか。

委員：学校では、ストーブ管理規程を作って手順を定めている。

事務局：先程、委員がおっしゃられたように、各学校の安全指導部でマニュアルを作って、職員会議で指導を徹底している。

委員：やましろ未来っ子EKIDENには、木津川市から何校出場するのか。

教育長：加茂小学校、木津川台小学校、高の原小学校及び木津小学校の4校である。

(6) 次回教育委員会日程について

次回委員会は、平成27年12月24日（木）午前10時00分から開催することを確認した。

教育長が、会議を閉会した。